

特集

地区別
行政懇談会

4地区から201人が参加
完成まじかの光スポーツ公園を視察

町に住むみんなの意見や要望を行政に反映させ、「活力と調和のとれた町」を目指すための地区別行政懇談会が行われました。懇談会は9月30日(白浜地区)を皮切りに10月1日(日吉地区)・2日(東陽地区)・8日(南条地区)の4日間行われ各集落の役員など201人が参加しました。また、今年完成間近の光スポーツ公園の視察を行った後に、町長が町の現状と21世紀を指した主要事業などについて説明しました。最後に質疑応答形式により、各集落からの質問並びに要望を伺い、それらに町長及び各課長が回答しました。なお、この懇談会は各集落の役員など多くの町民に行政に対する理解と協力を求めるため、毎年定期的に行われ、今回で5回目を迎えたものです。町長の説明並びに各集落から出された主な意見及び要望と回答は次のとおりです。(内容については要略してあります。)

4地区の特色を生かした計画を策定

町が21世紀を目指す目玉事業とは、4地区の特色を生かした計画です。日吉地区は第2期ひかり工

業団地の建設、南条地区は海老川沼周辺の開発による高級住宅街の形成、東陽地区は(仮称)文化・スポーツの森公園の建設、白浜地区は多目的スポーツ施設と尾垂野球場の建設です。

です。

その他では、大雨が降るたび災害が発生する恐れが生じたり、沿線の田が冠水する原因となる栗山川が、国の事業費の増大に伴い、早期における全面改修のめどがたつてきたことです。

全体的に共通するものは、道路・排水路などの生活基盤の整備、雇用の場の確保による若者の定住対策、高齢化に伴う生涯学習機会の提供と併せ「生きがい対策創生事業」の推進、農業の活性化を図るためのミニライスセンター導入による個人経費の節減など

また、今年度の主な事業は計画どおり進み、東陽病院は6月にオープンし、患者も20%超のびました。さらに、第1期ひかり工業団地も仮操業を開始、光スポーツ公園も平成4年2月には完成する運びとなっています。

住民の意見や要望は道路と排水路の整備

各集落から出された意見及び要望などで共通していることは、道路及び排水路の整備防犯灯及びカーブミラーの設置並びに補修、雑草が生茂る箇所(雑草の定期的な刈取り)、道路路肩に堆積された土砂の除去というこ